

市議会 12月定例会 行政報告（12月24日）

市議会 12月定例会最終日にあたり行政報告いたします。

新発田市地域活性化プロジェクトについて

それでは、新発田市、株式会社ウオロクホールディングス、新発田商工会議所の3者が連携し、今後、取組を進めることといたしました新発田市地域活性化プロジェクトについて御報告いたします。

本年8月末日、50年以上の長きにわたり、「市民の台所」として親しまれてきたウオロク中央店が、歴史の幕を閉じられました。

その際、株式会社ウオロクホールディングスより、閉店を撤回することは出来な
いが「創業の地・新発田」に対し、地域貢献は続けたいとの申し出がありましたこ
とから、本年9月定例会において、一般質問にお答えしたとおり、ウオロク中央店
閉店に伴う、買い物弱者などへの対応策について、同社 原常務取締役、商工会議
所 高澤専務理事、そして、市の下妻副市長の3者が中心となり、それぞれの役割
において検討を続けてまいりました。

例えば、商工会議所では、中央店の店舗をそのままに業務を引継げる可能性があ
る事業者の検討や、跡地を含めた商店街での取組について、株式会社ウオロクホー
ルディングスでは、店舗展開以外で持続可能な買い物難民への方策についてを、ま
た、市では、中心市街地だけでなく、周辺地域も含めた買い物弱者などへの対応に
ついて、「新発田市地域活性化プロジェクト」としてとりまとめております。

なお、公共交通に関わる分野は、現在、「新発田市地域公共交通網形成計画」の

方針見直しを進めておりますことから、あわせて検討をいたしております。

また、株式会社ウオロクホールディングス独自の取組として、同社において県内初となる、移動販売への取組を、来年中に当市から着手いただけるとのことであります。

本プロジェクトの実施に向けましては、去る12月20日の閣議において、来年度以降も制度の延長が決定された、企業版ふるさと納税を活用したいと考えており、今年度中に、国より「地域再生計画」の採択がいただけるよう進めてまいります。

以上、行政報告といたします。